

## 新規抗 HIV 薬使用症例調査に対するご協力をお願い

当研究班では、多施設共同研究「新規抗 HIV 薬使用症例調査」を行っております。この調査は、これまでの受診時に行われた診療録のみの情報を集計することによって行いますので、この研究のために新しく追加される診察や検査はありません。このような調査は、厚生労働省からの「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、調査に関わる情報を公開することが求められています。この研究に関するお問合せがありましたら、当研究班までお問合せください。

\* 課題名：新規抗 HIV 薬使用症例調査

\* 主たる調査研究機関：厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「薬剤耐性 HIV の動向把握のための調査耐性確立およびその対策に関する研究」班

(事務局 国立感染症研究所 エイズ研究センター)

\* 協力機関：全国エイズ診療拠点病院 374 施設 <http://api-net.jfap.or.jp/mhw/kyoten/menu.asp>?

\* 調査目的：新規抗 HIV 薬を必要としている患者さんの現状と治療経過を把握するため

\* 調査対象：現在、エイズ診療拠点病院を受診、以下の薬をのんでいる（使っている）患者さん

アイセントレス インテレンス シーエルセントリ プリジスタ

fuzeon Aptivas

\* 調査項目：使用薬剤名、検査データ（CD4、ウイルス量）、生年月、性別、感染経路、現在の薬剤の選択理由、薬剤耐性に関する検査実施について

\* 個人情報の保護について：この調査で提供される情報には、氏名、カルテ番号など個人が特定される情報は一切含まれません。診療録から個人情報を取り除いて、新たにつけた符号または番号により、情報の集計が行われます。その後、符号や番号も取り除いた解析値だけの発表が行われますので個人情報は守られます。

\* 研究成果の発表について：この調査研究の成果を、専門学術誌や専門学術集會に発表することがあります。

\* 問い合わせ先：

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

「薬剤耐性 HIV の動向把握のための調査耐性確立およびその対策に関する研究」班

事務局 [hiv-resistance@umin.ac.jp](mailto:hiv-resistance@umin.ac.jp)

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園 4-7-1

国立感染症研究所 エイズ研究センター 第2研究グループ

宮崎菜穂子 杉浦 互